

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

福祉団体とマスコミとの懇談会 (2面)

- 新潟医療福祉大学との連携セミナー開催
- 県民たすけあい基金助成事業紹介

11月号
2017
第783号



絵 高橋 郁丸「天狗」(漫画家・新潟市中央区)・文 11面

県内福祉団体と マスコミとの懇談会

突っ込んだ意見交換に熱気 軽食取りながら一層懇親深める

顕在化する福祉課題の克服に向けて、新潟県内の福祉団体と報道機関の連携を深める「平成29年度福祉団体とマスコミとの懇談会」(新潟県社会福祉協議会主催)が、9月20日に新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開催されました。

4年目となる今年は、複数のテーマを設け、これを



ブロック大会取材の要請や施策、課題について意見交換した福祉団体とマスコミとの懇談会

中心に意見交換を行いました。懇談会後はサンドウィッチなどを食べながら、さらに懇親を深めました。福祉団体が9団体13人、報道機関が2社3人と少ない参加者数でしたが、突っ込んだ熱のこもったやり取りが行われました。

懇談会は、福祉団体が設けた3つのテーマに基づいて5分間ほどで、それぞれの課題や取り組み、今後の予定などを説明、これに対し報道機関側が質問する形式で進められました。テーマは①福祉人材確保に向けた職場の魅力づくりと働き方改革(確保・育成・定着)②障がい者の地域での共生(差別解消法への対応)と就労③前記以外で各団体の特筆すべき取り組みの3項目です。

福祉人材の確保について



福祉団体から実情を説明

は、県保育連盟が、資格はあるが現在働いていない潜在保育士への採用情報提供や相談窓口となる「県保育サポートセンター」の仕組みなどを説明。県社会福祉協議会からは、福祉分野で働きたい人と人材を求める事業所を結びつける「県福祉人材センター」の現状と課題を報告しました。

障がい者の地域での共生について、県精神障害者家

族連合会が、多くの障がい者が通所する作業所の平均作業工賃の時間額は159円であるという実情を訴えました。

また、県老人福祉施設協議会から、自立支援介護のインセンティブ導入に係る評価方法や介護報酬の改定など課題となつて実態が強調されました。

これに対し、報道機関からは、「介護人材が不足しているが、教育現場での定員はどうなっているのか」「県手をつなぐ育成会では、具体的にどんな活動をしているのか」「福祉の仕事の楽しさは人を変えることができること」と言われたが、一般の人たちへの理解促進はどのようになっているのか」などの質問が出されました。福祉団体からは、養成校では定員に満たない状況が続いていることや、一般の人の理解を得るために、認知症カフェの開設や学校でのPRに努めているなどと答えていました。

輝く瞳で生き生き生活 にいがた医療・福祉・スポーツセミナー開講

にいがた医療・福祉・スポーツセミナー「健康でアクティブに暮らすために」身体のお悩み解消します！」(新潟県社会福祉協議会・新潟市社会福祉協議会・新潟医療福祉大学・新潟県高齢者大学主催)が9月25日午後、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開催されました。

公開セミナーは県社協と新潟医療福祉大、また新潟市社協と同大の各包括連携協定の一環として企画。シニア世代を中心とした20人ほどが参加しました。

4回シリーズ初回のこの日は、大切な目の働きがテーマ。新潟医療福祉大・視機能科学科の前田史篤教授が「輝く瞳で生き生き生活！」と題して講義。前田教授は「体が元気で目が悪くなると、今までできた

事ができなくなる」と話し、特に神経が傷みなかなか気付かない緑内障などの早期発見、早期治療が大切だと強調しました。

世界的には白内障が失明の原因1位ですが、日本では手術が進んでおり、ほとんど失明することはなく、手術は生活の質の向上につながると言います。老眼などと上手く付き合うことも、アクティブに過ごすためには必要で、「目が輝くほど、日常生活が生き生きとしてくる」としています。

受講者は自身の生活の質向上につながる講義に熱心に聞き入っていました。

新潟医療福祉大教授・准教授がそれぞれの専門的立場から分かりやすくアドバイスするセミナーは、11月と12月にも開催されます。

新潟医療福祉大教授・准教授がそれぞれの専門的立場から分かりやすくアドバイスするセミナーは、11月と12月にも開催されます。



視能訓練士でもある前田教授が目の健康についてアドバイス

今後のセミナー

日付	内容	講師
11月27日(月)	「運動で身体と脳をコンディショニング」	健康スポーツ学科 佐藤 大輔 准教授
12月18日(月)	「腰痛借金返済で腰痛改善！」	義肢装具自立支援学科 勝平 純司 准教授

※時間はいずれも、13時30分～15時20分で、会場はユニゾンプラザ。参加無料。申し込みは「にいがた医療・福祉・スポーツセミナー2017開催事務局」(新潟医療福祉大学内) 電話・ファクス 025 (257) 4508へ。

GWで誌面づくり実践 29年度社協職員広報研修会

県内の市町村社会福祉協議会職員を対象とした「平成29年度広報研修会」(新潟県社会福祉協議会主催)が9月6日午後、新潟ユニゾンプラザで行われました。今年のテーマは「魅せる広報誌を考える」。社協職員のほかに新潟市地域包括支援センター職員の参加も多くあり、34人がレイアウトの基本や見出しのコツなどについて学びました。

研修会は、講師に新潟日報社編集局整理部部長代理の永田央基さんを迎え、前半は座学で誌面全体の構成などを学び、後半は用意した素材を使ったグループワークで実際に見出し付けを行いました。永田さんはまず、「レイアウトでは最も読んでほしいものを大きく、メリハリを付ける。見出しは5W1Hの中から何が一番か、なにが省略できるかを考え、10〜11



いかに読者を引き付ける誌面をつくるか、を考えたい広報研修会

文字程度に収める」と新聞紙面づくりの基本を説明。その上で、広報誌面づくりについて、「各ページの役割の明確化やページごとの一押しの記事を決め、余白を有効に活用する。見出しは最も伝えたいことを主役にし、事業計画の紹介であれば、基本方針を要約した言葉を見出しにした方が良い」などとアドバイスをしました。

続いて、4、5人のグループに分かれての実践。昨年開かれた「ねんりんピック長崎大会」の記事などを基に、主見出しは、サブの見出しは、など盛んに意見を出し合い各グループの「見出し」などを決めていきました。

伝達式



街頭募金

10月1日新潟市の新潟日報メディアシップで「赤い羽根空の第一便」伝達式を開催しました。

式では、厚生労働大臣と中央共同募金会長メッセージを全日空のキャビンアテンダントとグラウンドスタッフから県知事、新潟市長、県共同募金会長、新潟市共同募金委員長に手渡ししました。

伝達式には、ほかに全日空新潟支店長、地元テレビ局代表者などから出席いただき、司会はTENYの堀敏彦アナウンサーが担当しました。

その後、皆様から街頭募金活動を行っていただきました。

赤い羽根の空の第一便
伝達式を開催

10月9日、第5回赤い羽根共同募金チャリティゴルフコンペが新津カンントリークラブで開催され、155人の参加者が秋晴れの下、熱戦を繰り広げました。

表彰式では、参加者の皆様方から15万5,000円の募金と、新津カンントリークラブ新潟観光開発株式会社から5万円の寄付をいただきました。

優勝者をはじめ各賞の対象者には、協賛企業から提供された豪華な賞品が贈られました。



参加者からの寄付金目録贈呈

第5回チャリティゴルフを
開催



ブースの様子



街頭募金

燕市では、地元の企業が金属ハウスウェア製品などを破格の値段で提供する「燕青空即売会」が毎年10月に開催され、県内外から5万人以上の買い物客が訪れます。

また、燕市のPRを目的に「ツバメルシェ」が同時開催され、おいしい食べ物や雑貨などが楽しめます。

当委員会では毎年ブースを出店し、共同募金のPRや街頭募金を行っており、多くの方から来店いただいています。

今年はブースに設置した募金箱と街頭募金を併せて4万7,423円の募金をお寄せいただきました。

ご協力いただきました皆様に改めて感謝申し上げます。

市町村TOPICS
燕青空即売会で街頭募金を実施
燕市共同募金委員会

県民たすけあい基金助成事業紹介

特定非営利活動法人 こども凸凹くらぶ

代表 大橋 清二
〒955-0041 三条市三竹2丁目6-19
電話 090-4388-4069

障害のある子と親のプラットホーム目指す

こども凸凹くらぶは、2015年に発達に凸凹（発達障害や偏りなど）のあるこどもたちとその保護者のための団体として立ち上げ、今年で3年目を迎えます。

約8年前、私の息子は小学6年生の時に発達障害（アスペルガー症候群）と診断されました。当時は発達障害についての情報は非常に少なく、メディアに取り上げられることもほとんどありませんでした。当時の私たちも、発達障害について全く無知で、「会話も



ペアレントトレーニング

できて勉強もある程度できて、ちよつとルールが守れないことがある、それで何が障害なの」。そんなところからのスタートでした。

息子に対して少しずつ理解を深める中で、「同じような境遇の保護者は他にもいるはず。その思いは同じような立場の保護者にしかわからない」。そう思うようになり、保護者が同じ話題を共有できる場を作りたいと会を立ち上げ、イベントや講演会などの勉強会を開催し、今も少しずつ仲間が増えていっています。

今年度頂いた助成金で、障害の種別関係なく、障害者の雇用のため専門的に支援している企業の方と実際に雇用している企業について



障害者雇用についての講演会

の講演会を開催しました。行政や企業、保護者などの市民の方々に参加いただきました。参加者からも「普段聞けないことが聞けてよかった」「障害者雇用についてのきっかけになる会だった」と有り難い声をかけていただきました。

不登校や引きこもり、鬱や適応障害など、心や精神的なものは発達障害を起因とする場合も少なからずあると思います。そのため、早期に理解し対応することがとても大切なのでは、と考えています。子どもが成長していく中で、一番影響を与えるのが家族であり親であると思います。そのため、親が一番の理解者であり一番の支援者になることがとても大切です。それは障害があるとかないとかは関係ありません。

その保護者が前を向いて歩いていけるよう、私たちは「プラットホーム」のような役割ができたらと思います。

ソウエルクラブ
Sowel
CLUB

会員数
25.8万人
(平成29年3月現在)

新規会員募集中

ソウエルクラブには、
職員が求めている
福利厚生があります。

ソウエルクラブの資料請求、
お問い合わせは、下記まで!

福利厚生センター(ソウエルクラブ)は…

社会福祉事業・介護保険事業に従事する方の福利厚生を全国一括で展開し、スケールメリットを活かすことにより、個々の法人では実現が難しい充実したサービスを提供しています。

1

加入のメリット

- ・職員のリフレッシュやストレス解消
 - ・職員の就労意欲の向上
 - ・職員のチームワークの構築 など
- 職場環境が改善することにより、さまざまな効果を実感していただけます。

2

充実したサービス

健診費用の助成、健康生活用品給付、各種お祝品、弔慰金をはじめとした基本サービスに加え、地域密着サービス、クラブオフなど幅広いサービスを展開しています。

3

掛金はわずか年1万円/人

会員1人当たり年1万円のご負担のみで、ソウエルクラブが提供する全てのサービスが利用できます。
また、掛金が年5千円の非常勤職員向けコース(サービスは一部限定)もごございます。

ソウエルクラブ
Sowel
CLUB

社会福祉法人 福利厚生センター

<http://www.sowel.or.jp> 詳しくは [ソウエルクラブ](#) で [検索](#) または、お電話でお問い合わせください。
TEL ☎ 0120-292-711 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビル10階

市町村社会福祉協議会と青年会議所

災害時相互協力協定を締結

9月21日、村上市社会福祉協議会と関川村社会福祉協議会および粟島浦村社会福祉協議会が、いわふね青年会議所とそれぞれ「災害時相互協力協定」を締結しました。

また、今月には、南魚沼市社会福祉協議会と湯沢町社会福祉協議会および雪国青年会議所の三者による協定を締結する予定となっています。

この協定は、市町村社会福祉協議会と各地青年会議所が協力のもと、有事における災害ボランティアなどの被災者支援活動を効果的・効率的に行うことを目的としており、両者の強みを活かした取り組みが期待されます。

【有事の主な協力内容】

- 1、被災地の情報共有とニーズの把握
- 2、災害ボランティア活動に必要な資機材等の調達、仕上げ及び輸送
- 3、災害ボランティア活動に関する情報発信
- 4、専門的な技能を活用した支援活動

【平時における活動】

有事における活動が円滑に遂行できるよう、平時から情報交換会、会議、事業、研修等を行う。

上越市社協が障害者雇用優良事業所全国表彰

法定上回る3・26%を評価

上越市社会福祉協議会（橋本真孝会長）が、平成29年度「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰」を受賞しました。これは、9月の「障害者雇用支援月間」に合わせ、毎年行っている全国表彰

で、上越市社協は障害者雇用への積極的な取り組みが評価されたものです。9月5日に東京で表彰式が行われました。

上越市社協は、平成25年に県知事表彰を受賞するなど、年々障害者雇用に力を

入れてきました。多くはデザイナー・ビジネスセンターの職員で、知的障害と精神的障害のある方合わせて17人が働いています。

上越市社協の橋本会長は「当法人が平成17年の市町村合併後に障害者への雇用

について、障害者を含めた委員会を組織化し年々雇用率を伸ばし、今年6月末で3・26%と、民間企業に定められた雇用率2・0%を上回ったことが認められたものと思っています。今後、引き続き3%以上の雇用率の維持に努めていきたいと思っています」と話しています。

災害時相互協力協定締結式



災害時協定の締結式。左から平田関川村社協会長、山貝いわふね青年会議所理事長、佐藤村上市社協事務局長、森田粟島浦村社協事務局長

機関誌「福祉にいがた」「福祉にいがた オアシス21」の広告募集

「オアシス21」は8・12・2月の年3回（2万部）、「福祉にいがた」は前記を除く年9回（1万5千部）発行しており両者合わせて通年で読者にお届けしております。配布先は、市区町村社会福祉協議会、保育園を含む社会福祉施設、小学校から大学までの教育機関、銀行や図書館・公民館などです。

区分	大きさ	掲載料	カラー	半年契約	年間契約
全ページ (裏表紙)	縦25.5cm ×横17cm	14万円	18万円 (20万円)	70万円 カラー90万円	140万円 カラー180万円
半ページ	縦12.5cm ×横17cm	7.5万円	10万円 (12万円)	37.5万円 カラー50万円	75万円 カラー100万円
2 段	縦10cm ×横17cm	6万円	8万円	30万円 カラー40万円	60万円 カラー80万円
1 段	縦5cm ×横17cm	3万円	4万円	15万円 カラー20万円	30万円 カラー40万円

*消費税別 *版下代は広告主負担 *カラーのカッコ内は裏表紙料金
問い合わせ 新潟県社会福祉協議会 企画広報課 ☎025(281)5584

加入施設、加入者とも増加傾向続く

平成28年度の新潟県民間社会福祉職員退職積立基金制度

新潟県民間社会福祉職員退職積立基金制度の平成28年度実績がまとまりました。

平成28年度末時点での加入者数は2万2,121人となり、年々増加傾向にあります。

0%となっており、10年未満の加入者が全体の62.8%を占めています。

本制度は、県社協の会員である施設・団体に勤務する職員が退職する際に年金もしくは一時金を支給し、生活の安定に寄与することを目的とし運営しています。

27・0%となっています。5年未満が最も多く、32・

115万3,260円、退職一時金を1,576人に計4億8,505万2,628円支給しました。

1 加入施設・加入者の状況

	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末
加入施設・団体数	579	601	616
加入者数	20,935	21,581	22,121

※届出の遅れ等により、数値が変動することがあります。

2 年齢・男女別加入者状況

年齢	男性	女性	合計	構成比
20歳未満	31	69	100	0.5%
20歳以上30歳未満	1,479	3,475	4,954	22.4%
30歳以上40歳未満	1,960	4,023	5,983	27.0%
40歳以上50歳未満	1,646	4,313	5,959	26.9%
50歳以上60歳未満	889	3,876	3,963	17.9%
60歳以上	378	784	1,162	5.3%
合計	6,383	16,540	22,121	100.0%

3 加入期間・男女別加入者状況

期間	男性	女性	合計	構成比
1年未満	528	737	1,265	5.7%
1年以上5年未満	1,874	5,199	7,073	32.0%
5年以上10年未満	1,557	3,997	5,554	25.1%
10年以上15年未満	996	2,490	3,486	15.8%
15年以上20年未満	648	1,505	2,153	9.7%
20年以上25年未満	445	1,055	1,500	6.8%
25年以上	335	755	1,090	4.9%
合計	6,383	15,738	22,121	100.0%

4 給付の状況

(単位：円/人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
退職者給付総額	460,803,919	526,541,654	506,205,883
一時金給付総額	445,702,772	508,827,651	485,052,623
一時金給付者数	1,477	1,646	1,576
一時金平均額	301,762	309,130	307,775
年金給付総額	15,101,147	17,714,003	21,153,260
年金延給付者数	414	476	559
年金給付平均月額	12,159	12,405	12,614



すこやかな寝顔を守る

先日、友人宅へ、生まれてからまだ数カ月の赤ちゃんに会いに行きました。ふつくらとしたほっぺ、小さな手足、くるくると動く瞳。抱いてみるととてもあたたかい。そのまま背中をとんとんと優しくたたいてみると、やわらかそうなまぶたがゆつくりと落ちていき、そのまま眠ってしまいました。

裏に浮かびました。都市部、特に待機児童の多い地域では、入園に向けた諸々の手続きに加え、就労条件をクリアするためにも勤務形態を変更する、少しでも入所しやすい保育園を求めて引っ越しをするなど、「保育園に入れる」というミッションを果たさず奔走する親の姿があります。地方でも、年度途中での入園が非常に困難であったり、子どもを連れて何箇所も保育園の見学に行ったりと、精神的・体力的な負担を抱えながら「保活」せざるを得ない場合があるのも事実です。親の負担感や不安は、育児や子どもの生活そのものに影響します。定員の拡充や、保育士の処遇改善など、現況を打開する取り組みが行われている、あるいは図られているところですが、子を持つ親が自由なく子育てできる土壌整備には、まだまだ時間がかかりそうです。

この子が成長し、いつか誰かの親になるときに、子育ての環境はどのように変化しているのでしょうか。穏やかに眠る小さないのちを眺めながら、静かに思うのです。

(実史)

福祉の店 味わい散歩

喫茶 めぐ

特定非営利活動法人

ワークステージ

(柏崎市松波2-2-39)

◇11時～14時

◇土・日・祝日休み

◇☎0257(47)7119



人気の日替わりランチ、ご飯のお代わりOK

2005年6月に障がい者の働く場と地域交流の場としてオープンしました。幹線道からちよつと入った住宅街。落ち着いた雰囲気のお店は、30人ほどがメインの日替わりランチなどを楽しむことができます。その人気の日替わりラン

チは、飲み物とケーキが付いて600円と割安で、ご飯のお代わりもOK。自家製を含めた地元の野菜を使い、利用者のアイデアも生かしたメニューとなっています。訪れた日のメニューは、ハンバーグと生野菜サラダ。店先に出された看板

も利用者の手書きです。

もう一つの売りが総菜の販売。この日は、店頭のカースにきんぴらゴボウや魚のフライがトレイに盛り付けられて並んで

いました。注文に応じて弁当も販売。市内でのイベントではカレーライスやクッキー販売も行っています。9月中旬に開かれた市町村社協会長視察研修での、コーヒーとカップケーキの出前サービスは大変好評でした。

その喫茶の一日は、仕込みに一区切りを付けた午前10時の朝礼で始まります。「いらっしやいませ」「何名様ですか」といった接客練習の後、連絡事項などが発表されます。互いにフォローしている様子がうかがえます。「自分で考え働くことを大切にしている」とのことです。



福祉NEWS

2017年9月11日～2017年10月10日

■介護職の入門研修導入

不足している介護人材を確保するため、厚生労働省は来年度から主に中高年の未経験者を対象に、短時間で介護の知識や技能を学べる入門研修を導入することを決めた。9月26日に開いた有識者委員会に方針を示した。介護の仕事に関心がある人の不安を解消し、多くの人材を呼び込む狙いだ。研修の受講は任意だが、介護施設では現在、一切研修を受けなくても働くことができるため、基本的な知識を身につけてもらうことでサービスの向上にもつなげたい考えだ。

■低所得世帯割合 40代増、高齢者減

厚生労働省が2014年まで20年

間の国民生活基礎調査の家計所得を分析したところ、低所得の割合が世帯主が40歳代の世帯では増え、高齢者世帯では減っているという結果が出た。調査内容は17年版の厚生労働白書に盛り込まれる。白書では、日本の所得の再分配機能が、「現役世代に比べ、高齢者世代に手厚い構造になっている」と分析。世代や世帯ごとの再分配政策、全世代型の社会保障への転換等が必要と指摘している。

■ギャンブル依存症経験疑い320万人

政府は9月29日、ギャンブル依存症の実態把握に向けた2017年度の面接調査について、有効回答は4,685人で、これまでの生涯で

依存症経験が疑われる人は推計3.6%との中間まとめを発表した。国勢調査のデータから計算すると約320万人に上る。大半は「パチンコ・パチスロ」に最も金を投入、掛け金は平均月5.8万円だった。調査担当者は調査方法にばらつきがあり比較は難しいとした上で、米国や韓国など11カ国と香港のデータを紹介。生涯での依存症疑いはオーストラリア(男性)2.4%、フランス1.2%、イタリア0.4%、ドイツ0.2%とし、パチンコなどを念頭に「日本の場合、身近なところでギャンブルができる環境が影響している可能性はある」と述べた。

“こんにちは”民生委員・児童委員です ～民生委員制度創設100周年を迎えて～



Vol.11

地域の見守り役 阿賀町

住み慣れた地域での生活支える

阿賀町は平成17年4月1日に、東蒲原郡内の4カ町村が合併して誕生した新潟県の東部に位置する町です。民生委員児童委員協議会もひとつになり、旧町村単位の4つの支部会で構成されています。現在、主任児童委員4人を含め67人の委員が活動をしています。

講師招き研さん積む

協議会の全体活動として、総会(年1回)と定例会(年3回)、各地区定例会(年12回)を開催しています。総会は行政からの町の現状や事業の説明などが主で、行政の施策を知る機会となっています。定例会は、



視察研修 (開上被災地)

防災や児童のいじめ・不登校についてなど毎回テーマを決めて講師を招いての講演会や研修を行っており、その中のグループワークで研修内容について担当区域の現状などを委員間で意見交換を行い、これからの活動に生かしています。また、年に1回宿泊を伴う視察研修を行い、研さんと委員の交流を図っています。

学校行事に積極参加

支部会の活動として、各支部内に所在する小中学校と保育園への訪問活動や運動会や文化祭、稲刈り作業などに積極的に参加をし、児童との関わりを持つ



学校懇談会

ようにしています。また地元駐在所との情報交換を行い、児童をはじめ、地域の要支援者などの情報を共有するようにしています。

敬老会の運営に一役

阿賀町は人口に占める65歳以上の割合が46%と県内で最も高齢化が進んでいるため、高齢者の生活支援が重要な活動の一つとなっています。住み慣れた地域での生活を支援するため高齢、独居など条件を満たす世帯には、町が冬期間の除雪費の助成や緊急通報システムによる24時間体制で見守りを行う緊急通報装置を設置しています。

定期的な安否確認や見守りのほか、これらの制度の利用が望ましいと思われる担当区域内世帯の情報を行政につないだり、申請時に民生委員の所見や意見を付して、迅速な対応に一役



敬老会ボランティア

買っているものと考えています。また毎年9月には75歳以上の方を対象に地区ごとに敬老会が開催され、当日の送迎バスの添乗、会場でのボランティアなど運営に携わっています。参加者からは大変感謝され、委員としてやりがいを感じる活動の一つです。

平成28年度に、赤い羽根共同募金からの助成金で、見守り活動時に着用するジャケットを整備していただきました。これにより協議会としての委員の団結力も一層強化されました。これまで以上にきめ細かな見守り活動を行っていききたいと思っています。

阿賀町

民生委員児童委員協議会

会長 斎藤 尚三

新潟の妖怪

天狗は日本全国で言い伝えられている妖怪です。新潟出身の仏教学者権田雷斧の「新纂仏像図鑑」（1930年）によると、天狗は梵名を憂流迦、彗星のことだとしています。さらに日本の「天狗」は、悟りを求める心無く、おごり高ぶって名声や利益を求めた僧侶のなれの果てだと

天狗 私たちを見守り、時にはいたずらも

いうのです。そのような天狗は、人を悪の道に導くのだとか。

新潟にも天狗の話が各地にあります。

「北越奇談」（橋崑崙、1812年）には、祭礼で迷子になった少女に、赤ら顔の僧が念力で得たものをプレゼントしたという話が載っています。五泉市の慈光寺には開山様・傑堂能勝禅師の手足となって創建時に巨木や巨石を運んだ慈戒和尚がいます。彼を祀った慈戒堂（通称「天狗堂」）があります。慈戒和尚の逸話は「北

越奇談」にも登場しますが、慈光寺によると、慈戒和尚は神通力があり、超人的な働きをするために天狗様と呼ばれるようになったのだそうです。

「天狗の木倒し」、「天狗つぶて」など、深夜に怪音がするという現象も各地にありました。そんないたずらもしますが、天狗様はおおむね山中で修業をしているようです。

長岡市小松倉に「大天狗」の石塔があります。2004年の中越地震で小松倉

の被害が少なかったため、後に「小天狗」という石塔も建立されました。天狗様は見えないところで私たちを守ってくれているのかもしれませんが。

文・絵 高橋 郁丸

（新潟県民俗学会理事・

新潟妖怪研究所長）



新潟ユニゾンプラザ 情報

◆主な貸室の紹介 【介護実習室】



【広さ】 101㎡
(実習用ベッド4台配置)

介護用ベッド、車椅子、ポータブルトイレ、リフト等、介護実習に必要な備品を各種備えています。介護の実習や研修会にぜひご利用ください。



貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール・会議室・研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場（220台）を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。

URL：<http://www.unisonplaza.jp/>

【大研修室】



【定員】 198名
【広さ】 367㎡

200インチの大型電動スクリーンを設置しております。

研修会や上映会等多岐にわたり大画面ならではの迫力ある映像が映写できます。

福祉の現場

古俣 健さん

(社会福祉法人更生慈仁会 法人本部長・十字園園長)

No.25

「利用者やその家族から、たくさんの『ありがとう』という言葉がもらえる、すてきな仕事だなと思いました」
 首都圏の体育大学を卒業後にたまたま就いた高齢者施設での介護士としての仕事。学生時代は、まったく福祉の道に進もうと思っていなかったのですが、そこでお年寄りから掛けられた言葉が、福祉の道への道標となりました。一時はフリーターのようなことをしていた時期もありましたが、「このままではいけない」と将来を真剣に考えたとき、「もう一度『ありがとう』と言ってもらえる福祉の仕事をしよう」と決心したと言います。縁あって、現在の法人に就職しました。



「ありがとう」の言葉をもらえるすてきな業界。その発展を願う

支援員や生活相談員などを経て、2年前から障害者支援施設の園長、そして今年4月からは、法人の職員400人を率いる法人本部長を務めています。「てんやわんやです。ぐうたらな性格で務まるのか、日々葛藤。判断に迷い胃が痛くなることもあります」とのことですが、「みんなが幸せになるために。相手の立場になって」をモットーに奮闘しています。

更生慈仁会は障害者施設から出発し、地域の声に応えながら、保育園から特別養護老人ホームまで幅広い福祉施設の運営を行っています。

夢が2つあると言います。「一つ目は、当法人を発展させ、今以上に地域に必要とされる法人をつくること。二つ目は、大きなことを言うようですが、このすてきな福祉業界を、子どもたち、若者たち、そして他の業界の人たちからあこがれる業界にすることです。」

仕事以外の楽しみは、大学時代から始めたラグビー。所属する社会人チームでプレーするとともに、その仲間たちと酒を飲みながら、たわいない話をする。ことだそうです。

福祉の店パレット

社会福祉法人 魚沼地域福祉会
 なないろ
 (魚沼市)



【施設紹介】

『ひとり一人の笑顔大切にします。』を法人の理念として、様々な機会を通じて社会参加を促進し、個人の能力や適性に配慮した支援を行い、クッキーやマフィン、干支飾りの製作に励んでいます。

【商品説明】

(金額はすべて税別)

☆干支飾り

今年の干支は犬です。全て手作りの犬の表情がとても愛くるしく、新年に干支の置物を飾ると福を招くと言われ、非常に人気のあるものです。

.....540円

問い合わせ

福祉の店パレット新潟店
 県社協 地域福祉課

☎025-281-5513
 ☎025-281-5521

「意見や感想お寄せください」
 「福祉にいがた」について、ご意見、ご感想、
 知りたいテーマなどございましたら左記までお寄せください。
 ◆TEL 0950-85575 新潟市中央区上所2-1-212
 新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
 ◆ファクス 025-281-5528
 ◆Eメール oasisu@fukushininigata.or.jp

この機関誌は、
 赤い羽根共同募金の
 助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
 新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
 ☎ 025-281-5584
 発行人/関谷 政友
 定 価/5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
 平成29年11月1日発行 (毎月1日発行)
 昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
 印刷/島津印刷㈱